

科目名	テニス演習 3							年度	2025	
英語科目名	Tennis Instructor Seminar 3							学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 2年次		必／選	必	時間数	180	単位数	12	種別※	演習
担当教員	鷺田、和田、柳田		教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ/プロテニスプレイヤー/日本スポーツ協会公認テニスコーチ4		
【科目の目的】										
テニスの特性について理解し、基本の6ショットを軸にテニス選手としての基礎技術を学びます。また、連戦でもパフォーマンスの下がらない身体づくりを目指します。										
【科目の概要】										
基本の6ショットであるフォア・バックハンドストローク、フォア・バックボレー、サーブ&レシーブについて学びます。また、心肺機能を高めるライブボール中心の練習を行います。										
【到達目標】										
A ストロークにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる B ボレーにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる C サーブ&レシーブにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる										
【授業の注意点】										
理由のない遅刻や欠席は認めません。授業回数の4分の3の出席がなければ単位取得できません。										
評価基準＝ループリック										
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	ストロークにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる		ストロークにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所をある程度調整することができる		ストロークにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができない					
到達目標 B	ボレーにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる		ボレーにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所をある程度調整することができる		ボレーにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができない					
到達目標 C	サーブ&レシーブにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができる		サーブ&レシーブにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所をある程度調整することができる		サーブ&レシーブにおいて適切なスピード、回転、高さをコントロールして時間と場所を調整することができない					
【教科書】										
テニス指導教本1・2										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

